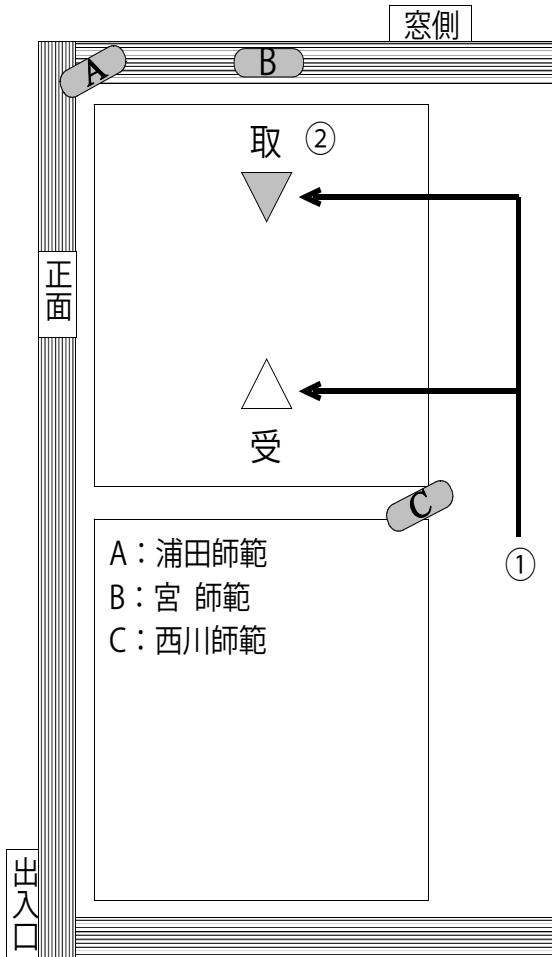


昇級昇段審査の受け方と動作について

【審査時の位置取り】



1. 審査の簡単な流れ

審査は大まかに、**入場⇒演武⇒退場**の順に進められる。

2. 入場

- ・審査は、窓側の半面で演武を行う。
- ・審査を受ける人（取り）は、名前を呼ばれたら速やかに矢印の様に進む。受けも取りの後ろに付いて、一緒に入場する。
- ・①で礼をして入場し、②まで進む。
- ・審査を受ける【取り】は**窓側**に、【受け】は**中央側**に向かい合って座る。

* 1：複数組が同時に審査を受ける場合は、組みの数により座り方が変わります（二組同時の場合、三組同時の場合を参照）。

* 2：五級の審査に限り、最初に膝行・受身を行いますので、座る位置が違います（五級審査の場合を参照）。
膝行・受身終了後、師範の指示に従い、受けの人と共に②の位置に座ります。

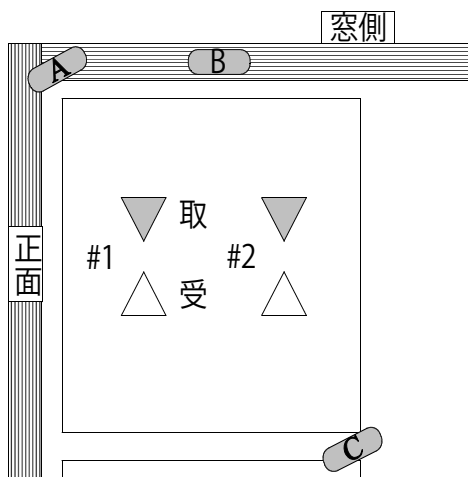
3. 演武

- ・師範の指示に従い、正面及び相互に礼を行う。
- ・師範の指示に従い、指定された技を順次実施する。
- ・表／裏の区別のある技は、表 - 左右、裏 - 左右の計4本を行い、終わったら元の位置に戻り、指示が有るまで待機する。
- ・投技（入身投げ、回転投げ、天地投げ、小手返し、自由技、座技呼吸法等）は「止め」が掛かるまで繰り返す。
- ・基本的に回数は師範の指示に従う。
 - * 「止めが掛かるまで」、「表・裏」、段の場合は「5種」等
- ・武器を使用する場合は必ず準備して持参する。但し、直ぐ使うのであれば手前に置いておくこと。
- ・演武内容は別紙「柏合気会昇段・昇級試験実技項目」を参照。

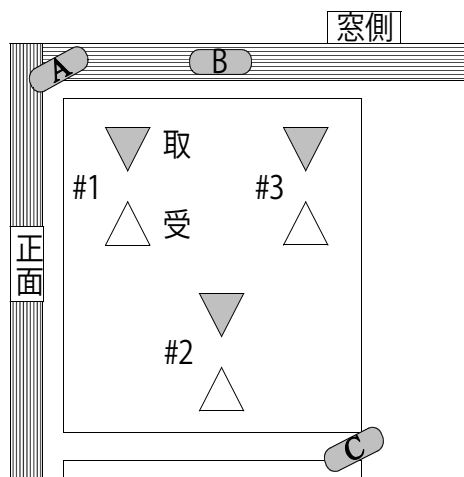
4. 退場

- ・師範の指示により正面及び相互に礼を行なった後、入場の進路を逆に進んで退場する。

【二組同時の場合】



【三組同時の場合】



【五級審査の場合】

